

き・ず・な通信



仙台市立小松島小学校
令和4年7月19日
第7号

きみたちは ずっと なかま

11日(月)～14日(木)に、きずな週間がありました。

きずな週間では2年生から6年生の各学級代表児童が「学級目標」「その学級目標になった理由」「目標達成のために、実際に学級でやってみる予定の事・やっていること」を発表しました。

「学級でやってみる予定の事・やっていること」については「ふわふわ言葉や、優しい言葉をたくさん使う」「困っている人に声を掛ける」「お互いに助け合う」「下の学年のお手本になれるように決まりを守る」「行事に全力で取り組む」など、心が温まるものばかりでした。各学級で取り組んでいく中で、それぞれの学級を、ひいては小松島小学校をどんどん良いものにしていきたいですね。



きずな週間の中で、子供たちにこんな話をしました。

「ドラえもん」という漫画を知っていますか？ドラえもんは、そのポケットの秘密道具で、たくさんの願いをかなえてくれます。その秘密道具の中に、「心の声スピーカー」というものがあります。この道具は、人の心の声を聞くことができる、というものです。心の声が聞けたら便利ですよ。人が喜んでいるとき、嬉しそうなき、怒っているとき、ふさぎ込んでいるとき。口を開きづらそうなきでも、その人が何を考えているのかが分かります。そんな道具があったら、とても便利ですよ。

でも、残念ながら現代にはまだ、その道具はありません。自分の思いや考えていることを人に伝える時はどうすればよいでしょうか。やはり、言葉を使って伝えるしかありません。皆さん、喜んでいるとき、嬉しそうなき、怒っているとき、ふさぎ込んでいるとき。考えていることを伝えてみてください。きっと、1人でそうしているときよりも心がふわっと軽くなりますよ。お話をされた方も、「そういうことを思っていたんだね」と、心がふわっと軽くなるはずですよ。考えていることを、言葉で伝えること。とても大切です。是非実行していきましょう。

夏休み、情報モラルも守りましょう

21日(木)からは、夏休みです。友達と会う機会も減少する長期休みは、スマートフォンやパソコン、タブレット端末などを使って過ごす時間が増える傾向にあります。必要な情報を調べたり、活用したりする力の高まりが期待できる半面、使い方を誤ると大きな問題につながります。また、健康に関わる問題を引き起こすこともあります。情報モラルを守って使用するよう、お声掛けください。裏面の例を参考にして、使い方についてご家庭で話し合ってみてください。

Point① 時間の長さだけでなく中身に着目

何にどのくらいつかっているのかを、一緒に確認しましょう

学習での活用も増え、子供のインターネット利用時間はより一層長くなっています。「いつまでやっているの!？」と頭ごなしに叱らず、子供がどんな使い方をしているのか、内容と時間を把握することが大切です。

どのカテゴリにどれくらい使ったかを確認するにはスクリーンタイム (iPhone) やデジタルウェルビーイング (Android) が便利です。

利用時間や就寝時間を設定すれば、無意識の使い過ぎも防ぐことができますので、上手に活用しましょう。



どのアプリもどれくらい使っているか簡単に確認できるからコントロールもしやすい!

スマホに入っているツールを使って時間管理することもおすすめです

スクリーンタイム (iOS12以上) デジタルウェルビーイング (Android10以上)



これらのツールを活用するための大切なポイントは、設定変更の際には必ず相談するよう促すこと。親子で一緒に「利用時間のコントロール」をやってみませんか?

Point② ゲームプレイは“個”から“グループ”へ

保護者と一緒にプレイしなくなる時期こそ、しっかり見守る

一人で、リアルな友達と、ネット上のグループで協力しながら、ゲームは多様な遊び方があります。

高額課金やID乗取り等のトラブルだけではなく、誘う・誘われない、アイテムをもらった・もらわなくてもめたり、一人抜けできず長時間プレイになったりといったことも生じています。また、プレイ中のチャットや音声でのやり取りから、個人情報が出たり、誘い出しのきっかけになってしまうこともあります。

保護者は、子供がどんなゲームをしているか知っておくとともに、対象年齢に達しているかを確認したり、スマホやゲーム機のペアレンタルコントロール機能を活用したりして、子供の安全利用を見守りましょう。

年齢区分 (レーティング) とは?

おもちゃの対象年齢と同様に、ゲームのソフトやアプリにも「〇歳以上」という対象年齢の区分があり、マークで示されています。ソフトのパッケージやアプリの入手画面で必ず確認しましょう。

【ゲームソフトの年齢区分(例)】



【スマホアプリの年齢区分(例)】



Point③ SNS等でのいじめや誹謗中傷、どう対処すべき?



相談しやすい親子関係をつくり、話はじっくり聞いてあげる

子供が一人で悩みを抱えないためにも、普段から「困ったら何でも相談にのるよ」と声をかけましょう。そうすると子供は相談しやすくなります。

相談されたときには、子供の話をじっくり聞いてあげてください。保護者が大騒ぎしてしまうと、相談しにくくなってしまいます。じっくり聞いたうえで「どうしたい?」と聞いてあげましょう。

誹謗中傷等のやり取りは、スクリーンショットなどで保存し、いつ何が起こったのかを明確に記録しておく対応がしやすいです。必要に応じて専門家にアドバイスを求めましょう。(相談サイトは裏面に掲載)

気軽な投稿が、他人を傷つけるおそれがあること、インターネットにあげた言葉や写真等は、後から取消しができないことも、子供に伝えましょう。

Point④ 動画や写真は危険がいっぱい

動画や写真の投稿で注意すること

面白がって撮ったり、友人・知人の情報が含まれるものを投稿することで、不快感やトラブルを生むこともあります。どんな投稿がトラブル原因になるか親子で考えてみましょう。

写真や動画の投稿サービスやアプリの多くは中学生以上が対象。年齢に満たない子供の投稿は、保護者のアカウントで一掃に行うようにしてください。

裸の写真は特に!!

撮ったり、持ったり、送ったりは、すべて違法行為。どんなに仲が良くても親しい関係でも、どんなにお譲りされたとしても、18歳未満の子供の裸は、
「撮っちゃダメ!」
「男の子も女の子もダメ!」
「持っているだけでもダメ!」
「送っちゃダメ!」
「転送もリツイートもダメ!」



フィルタリングの活用

あんしんフィルターやiフィルター等によって、有害・不適切なサイトへのアクセスやアプリの利用を制限します。お子様の成長に合わせてカンタンに設定でき、カスタマイズもできます。

なお、有害・不適切なサイトへのアクセス制限は、スクリーンタイム (iPhone) やファミリーリンク (Android) のコンテンツ利用の制限でも設定可能です。

あんしんフィルター



iフィルター



※フィルタリングの他にも、裸の写真等と考えられる不適切な画像をAIで検知し、撮影できなくする機能やSNSへの投稿内容によって、保護者にアラート通知する機能等もあります。